

## 平成 27 年度 第 2 回鹿沼市隣保館運営審議会次第

期日 平成 28 年 2 月 10 日 (水)

午前 10 時

場所 隣保館 2 階会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 題

(1) 平成 27 年度事業実績について

(2) 平成 28 年度事業計画 (案) について

4 そ の 他

5 閉 会

# 鹿沼市隣保館運営審議会委員名簿

(任期 平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

区分	氏名	職等	備考
1 地域住民代表	吉井 和夫	鹿沼市三幸町自治会長	副委員長
2 関係行政機関職員	半田 明男	鹿沼公共職業安定所長	
3 知識経験者	佐藤 誠	鹿沼市議会文教民生常任委員会委員長	
	金子 俊子	鹿沼市花岡町担当民生委員・児童委員	
	丸井 一弘	部落解放同盟鹿沼市協議会議長	
	武藤 由	部落解放同盟鹿沼市協議会副議長	
4 市職員	松山 裕	鹿沼市副市長	委員長
	山根 徹	鹿沼市市民部長	
	御地合 晋守	鹿沼市経済部長	

## (1)平成 27 年度事業実績について

### ア 相談事業

相談事業については、館長はじめ全職員で対応し実績は次のとおりである。

(平成 27 年 1 月 31 日現在)

相談区分	2015 /4	2015 /5	2015 /6	2015 /7	2015 /8	2015 /9	2015 /10	2015 /11	2015 /12	2016 /1	総計
健康	13	16	15	6	18	8	14	9	9	12	120
住宅						2	4				6
生活	3	4	2	4		4	3	4	1		25
福祉	3	4	1					1	1		10
法律											
友愛	55	90	64	67	47	80	44	55	56	48	606
就職	1										1
その他											
総計	75	114	82	77	65	94	65	69	67	60	768

健康に関する相談が最も多い。加齢による肉体的・精神的な衰えを訴える事例が多い。相談者自身の健康に関するもののみならず、家族の健康を案ずる事例も多い。超高齢化が進行しつつある今日では今後も増加するものと思われる。

次いで生活に関する相談が多く、内容としては隣家との諍い、家族間の葛藤等が主である。特に対策を必要とする事例は少なく、相談員に愚痴をこぼして気持ちの整理を図る事例が多いと思われる。

3 番目に福祉に関する相談が多い。内容としては介護に関するものがほとんどである。家族の介護に関する悩み、受給している介護保険サービス内容への不満、介護保険利用に関する認定や申請等の手続きなどが主な内容である。

友愛相談は指導員と生活相談員が管内の世帯を巡回して暮らし向きや健康状態の観察、以前に扱った相談事例の経過観察、新たな問題の有無の確認等を目的に実施した。

### イ 地域保健福祉事業

#### (ア) 高齢者ふれあい事業

南部地区 10 町（寺町・蓬莱町・鳥居跡町・三幸町・花岡町・万町・村井町・上殿町・縦山町・貝島町）を対象に、毎月第 2・第 4 木曜日を中心に高齢者交流会（歌やレクリエーション、見学）を次のとおり実施した。

回	実施日	内容	講師等	参加人数
1	平成 27 年 5 月 28 日	いきいきはつらつ介護予防	高齢福祉課職員	36
2	平成 27 年 6 月 11 日	楽しく体を動かそう	佐藤悦夫	36
3	平成 27 年 6 月 25 日	健康づくり講座 栄養編	健康課職員	34
4	平成 27 年 7 月 2 日	帰りバスツアー 栃木県立子ども総合科学館	館職員	31
5	平成 27 年 7 月 16 日	ミニ観葉植物作り	館職員	26
6	平成 27 年 9 月 3 日	自分流絵手紙	柏木弘己	34
7	平成 27 年 9 月 17 日	楽しく動こう！リズム体操	渡辺由佳里	27
8	平成 27 年 10 月 8 日	園児と遊ぼう	こじか保育園	27

回	実施日	内容	講師等	参加人数
9	平成 27 年 10 月 15 日	帰りバスツアー さくら市氏家ミュージアム	館職員	33
10	平成 27 年 11 月 13 日	大正琴を聴いて歌おう	柴田 文子	35
11	平成 27 年 11 月 27 日	ヘルシーおやつ作り	南木 彩	29
12	平成 27 年 12 月 11 日	ミニ門松作り①	館職員	36
13	平成 27 年 12 月 18 日	ミニ門松作り②	館職員	34
14	平成 28 年 1 月 7 日	書初めに挑戦しよう	飯塚まゆみ 飯塚武尚	25
15	平成 28 年 1 月 21 日	恵方巻を作ってみよう	館職員	27
16	平成 28 年 2 月 4 日	小物作り・第 1 回	林部千鶴 丸井櫻子	予定
17	平成 28 年 2 月 18 日	小物作り・第 2 回	林部千鶴子 丸井櫻子	予定
18	平成 28 年 3 月 10 日	春の花の寄せ植え	館職員	予定
	計			470

日帰りバスツアーを除く毎回到、調理ボランティア 3 名（駒場ヨリ氏、金子スミ氏、丸井壽子氏）の協力により給食交流会を実施した。

今年度の参加登録者数は 45 名である。最高年齢が満 94 歳、最低年齢が 64 歳、平均年齢は 79 歳である。性別は男性が 4 人で女性が 41 人である（男女比＝1：9）

## (イ) 健康教室

「生活習慣病の予防」をテーマに健康教室を開催した。

回	実施日	内容	参加人数
1	平成 27 年 8 月 6 日	ロコモティブシンドロームとは 食事と運動で予防しましょう	24
2	平成 27 年 8 月 20 日	脳卒中予防 おいしく楽しくカンタンに減塩しましょう	28
3	平成 27 年 8 月 27 日	骨を丈夫に健康で長生き カルシウムを効果的にとりましょう	27
	計		79

参加者ひとりづつに食事の内容をヒヤリング調査し、食習慣を分析してその結果を各個人毎に改善指導書を作成し個別指導を実施した。

## ウ 啓発及び広報活動事業

### (ア) 隣保館だよりの発行

南部地区 10 町に対し、広く人権に関する理解を深めると共に、人権意識の高揚を図るため「隣保館だよりの発行した。

A 4 版 2 ページ両面印刷（4, 200 部／月）

号数	発行日	主な内容
No.277	平成 27 年 6 月 25 日	高齢者ふれあい事業を実施いたします。
No.278	平成 27 年 7 月 25 日	8 月は「人権啓発推進市民運動強調月間」です。
No.279	平成 27 年 8 月 25 日	健康教室が、管理栄養士の指導のもと始まりました。
No.280	平成 27 年 9 月 25 日	「ウェルフェア in かぬま&福祉と人権のつどい」が開催されます。
No.281	平成 27 年 10 月 25 日	悩みごと・お困りごとは隣保館にご相談を。
No.282	平成 27 年 11 月 25 日	平成 27 年度人権啓発標語入選作品が決定

号数	発行日	主な内容
No.283	平成 27 年 12 月 25 日	市の人権関係相談窓口のご紹介
No.284	平成 28 年 1 月 24 日	悩みごと・お困りごとは隣保館にご相談を。
No.285	平成 28 年 2 月 25 日	発行予定
No.286	平成 28 年 3 月 25 日	発行予定

### (ウ) ウェルフェア in かぬま 2015&福祉と人権のつどいの開催

実行委員会を組織し、10月24(土)に前夜祭を、翌25日(日)に文化祭を実施した。

内容は次のとおりである。

名称	主な内容
合唱演奏	前夜祭で栃木県人権擁護委員連合会合唱団による合唱演奏。
人形劇公演	前夜祭で栃木人権擁護委員協議会による人形劇の公演
演芸大会	利用団体等がカラオケ・ダンス等を披露した。
よさこい	市内のよさこい団体による実演をした。
マジックショー	市内の奇術同好会による実演をした。
けんちん汁	隣保館の調理ボランティアがけんちん汁を調理し無料配給した。
人権啓発パネル展	隣保館 2 階会議室で人権啓発パネルを展示した。
人権啓発ビデオ上映	隣保館 2 階会議室で人権啓発ビデオを上映した。
マスのつかみどり	子どもたち及び保護者等によるマスのつかみどりを実施した。
ビンゴ大会	参加者全員によるビンゴ大会を実施した。
模擬店	各種団体の模擬店が開催された。

### (エ) 人権週間街頭啓発への参加

12月13日(日)

市内大型店舗等6か所にて街頭啓発を行った。

隣保館はヤオハンフードセンター縦山店前で実施した。

## エ その他の事業

### (ア) 貸館事業

地域のサークル・クラブ等へ空き時間を利用して施設を開放利用した。

隣保館事行を含めた利用状況は次のとおりである。

(単位：延べ人数)

業務名称	2015 /4	2015 /5	2015 /6	2015 /7	2015 /8	2015 /9	2015 /10	2015 /11	2015 /12	2016 /1	総計
こうねんダンスクラブ	23	19	29	22	19		21	26	27	23	209
ひいらぎ	73	51	75	63	60	52	65	77	54	52	622
ふみの会大正琴			2								2
ふれあい事業		36	70	56		61	60	58	57	52	450
レクリエーション協会	12	34			7	20			7	18	98
永楽会	27	36	33	41	26	36	25	25	29	27	305
健康カラオケ	22	13	15	14	12	10	12	14	19	25	156
健康教室					79						79
赤いくつフォークダンス	56	30	59	48	67	36	30	55	31	25	437
天恵会	54	46	48	30	21	24	23	22	18	11	297
南部地区会館事業				6		13	31				50
部落解放同盟鹿沼市協議会	41	7		6		7					61
悠遊くらぶ	62	45	76	57	58	59	61	27	53	41	539

業務名称	2015 /4	2015 /5	2015 /6	2015 /7	2015 /8	2015 /9	2015 /10	2015 /11	2015 /12	2016 /1	総計
栃木県人権擁護委員連合会							20				20
鹿沼市隣保館運営審議会								10			10
総計	370	317	407	343	349	318	348	314	295	274	3335

### (イ) 会議・研修等

会議・研修等への参加状況は次のとおりである。

実施日	場所	内容
平成27年4月25日	隣保館	部落解放同盟鹿沼市協議会第41回定期大会
平成27年5月31日	栃木市 ゆうゆうプラザ	部落解放同盟栃木県連合会第43回定期大会
平成27年6月27日	宇都宮市 とちぎ健康の森	第12回栃木県人権研究集会
平成27年9月8日	南部地区会館	ウエルフェアinかぬま第1回実行委員会
平成27年10月1日	南部地区会館	ウエルフェアinかぬま第2回実行委員会
平成27年12月6日	鹿沼市民文化センター	人権を考える市民のつどい
平成28年1月8日	栃木サンプラザ (栃木市)	部落解放同盟栃木県連主催 人権啓発映画「日本と原発」

### (ウ) 栃木県隣保館連絡協議会

栃木県隣保館連絡協議会（足利市、佐野市、栃木市、鹿沼市の隣保館および小山市、上三川町の隣保事業実施課で構成される。以下「栃隣協」という。）の活動状況は次のとおり。

実施日	場所	内容
平成27年4月16日	栃木市厚生センター	平成27年度栃隣協総会
平成27年6月19日	栃木市厚生センター	第1回栃隣協理事会
平成27年10月5日	栃木市厚生センター	第2回栃隣協理事会
平成27年10月5日-6日	東日本大震災被災地 (福島県南相馬市)	栃隣協職員研修会 東日本大震災被災地の現状把握について
平成28年1月14日	佐野市立吉澤記念美術館	職員研修会 講話:「重文・菜蟲譜の普遍性について」

### (エ) 全国隣保館職員研修会

全国隣保館連絡協議会（全国の隣保館約700館が加盟、以下「全隣協」という）およびの全国隣保館連絡協議会東日本ブロック会（福井県・岐阜県・三重県以東の約100館が加盟、以下「全隣協東日本」という）の活動に参加した。

実施日	場所	内容
平成27年10月20-21日	大阪府大阪市	全隣協主催の全国隣保館長研修会に参加した。 鹿沼市が全隣協東日本および栃隣協を代表して分科会における発表者を務め鹿沼市が独自に開発した隣保館運営ソフトウェアの紹介をした。

実施日	場所	内容
平成27年10月30-31日	岐阜県大垣市	全隣協東日本主催の隣保館職員研修会に参加した。

全隣協の全国隣保館長研修会において、鹿沼市が独自に開発した隣保館運営のアプリケーションソフトウェアを紹介したところ、参加していた約60館のうち次の9館等が提供を希望したので配布した。

自治体名称	隣保館等の名称
愛媛県 松山市	松山市 中島ふれあいセンター
香川県 三豊市	三豊市 たかせ人権福祉センター
大阪府 三島郡 島本町	島本町 人権文化センター
広島県 福山市	福山市 神辺西コミュニティセンター
熊本県 熊本市	熊本市ふれあい文化センター
茨城県 古河市	古河市 隣保館
愛媛県 今治市	愛媛県今治市菊間町隣保館
栃木県 栃木市	栃木市大平隣保館
長野県 長野市	人権センターながの

#### (オ) 隣保館運営審議会

隣保館運営審議会の活動状況は次のとおりである。

##### 隣保館運営審議会

実施日	場所	内容
平成27年11月17日	鹿沼市隣保館	平成27年度第1回隣保館運営審議会会議
平成28年2月10日	鹿沼市隣保館	平成27年度第2回隣保館運営審議会会議

##### 委員の委嘱

就任日	委員氏名	職等
平成27年4月1日	全委員	別紙委員名簿のとおり
平成27年10月1日	佐藤 誠	鹿沼市議会文教民生常任委員会委員長

## (2)平成 28 年度事業計画（案）について

### ア 事業目標

隣保館では、地域住民に対する理解と信頼関係を育成するために、住民のかかえる日常生活上の諸問題を解決し、地域福祉活動を喚起することを通じて、人権問題の正しい理解と差別解消への取り組みを行います。

また、隣保館で行う事業を通じて、地域住民の生活改善向上のための意識高揚と、人権の尊重された社会づくりに努めます。

特に、平成 27 年 4 月に施行された生活困窮者自立支援制度の活用を図ります。

### イ 事業内容

隣保館において次の事業を実施します。

#### (ア) 相談事業

相談事業は、地域住民との信頼関係により成り立つものであり、まさに隣保館事業の根幹をなすものです。

隣保館職員は、地域住民と気心を通じ合うための訪問活動を積極的に展開し、あらゆる相談、特に人権問題については、速やかに対応すべき体制と気構えをもって臨みます。

また、職員の活動が、問題解決のための援助活動であることを地域住民にも十分理解を求めながら、今後とも、関係機関・団体との連携を密にして問題の解決にあたります。

#### (イ) 地域保健福祉事業

地域住民の持つ健康の悩みや福祉への要望を的確にとらえ、成人病予防や高齢者・女性等の健康管理のための学級講座等を開催し、生活改善のための意欲を高めます。

また、高齢者福祉対策として、一人暮らしや寝たきり老人世帯への訪問活動を行い、関係機関との連携を図ります。

さらに、生きる喜び・集う楽しみを目的に高齢者ふれあい事業を実施し、地域の融和と生きがいづくりを図り、健康に配慮した給食サービス等を実施します。

\* 主な事業（予定）

- 健康教室の開催 3 回程度
- 高齢者ふれあい事業の開催 18 回程度

#### (ウ) 啓発及び広報活動事業

地域住民に対する人権問題の理解を深めるための啓発・広報事業を行います。

\* 主な事業（予定）

- 隣保館だよりの発行 年 10 回 4,300 部(南部 10 町)／回
- 「ウエルフェア in かぬま&福祉と人権のつどい」の開催
- 人権週間街頭啓発への参加
- 人権講演会・研修会への参加
- 「人権を考える市民の集い」への参加



## (エ) その他の事業

地域住民を対象とした各種クラブ活動に関する事業、レクリエーション及び教養文化に関する事業、その他人権対策の推進に資する事業を行います。

### \* 主な事業（予定）

- 各種団体、サークル等の隣保館利用の促進。
- 人権問題関係事業の説明会及び講習会等の開催。
- 人権問題に関する資料等の収集および展示。
- 人権問題に関する各種研修会等への参加。
- 各種事業へのボランティアの協力と人材の育成発掘。

## (オ) 栃木県隣保館連絡協議会

県内の隣保館等（鹿沼市、足利市、小山市、佐野市、栃木市、上三川町）で組織する栃木県隣保館連絡協議会の研修会等に参加し県内および全国の隣保館と連携します。

平成 28 年度は鹿沼市隣保館長が同協議会の会長に就任する予定であり、リーダーシップを発揮して同会の運営に貢献します。

## (カ) 隣保館運営審議会

隣保館運営審議会会議を年 2 回(11 月、翌年 2 月頃)実施します。

南部地区会館運営協議会との合同で先進地視察研修会を平成 28 年 7 月に実施します。

